

株式会社バンテック



2023年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年9月～2024年8月)



発行日：2024年11月1日

修正日：2024年12月17日

I. ごあいさつ

株式会社バンテックは、平成24年の設立以来、管工事、土木工事業を通して地域社会の発展に尽力してまいりました。全従業員が地球環境の保全の重要性を認識し、環境負荷の低減に努めることにより、美しい国土の維持、人と環境が共存する社会を目指して取り組んでまいります。

環境経営方針

当社は、「顧客から信頼され愛される企業」を経営理念とし、知識・経験と豊富な技術力で安全を第一に顧客に満足の得られる快適な生活空間を提供する施工を目指しています。昨今の気象は異常で大型台風や大洪水が頻繁に発生し、気象変動リスクなどの環境問題が社会経済に大きな影響を及ぼしています。地球環境保全のため環境負荷の一層の低減を図るため、小規模な企業ながら事業活動を通じて、環境経営システムを推進して参る所存であります。

1. 環境関連法規制等および当社が約束したことを遵守します。
2. エコアクション21環境経営システムを構築し、運用、見直し等を行い継続的に改善に努めます。
3. 二酸化炭素排出量の削減を推進します。
電力使用量の削減及び自動車等燃料の削減
4. 廃棄物排出量の削減を推進します。
一般廃棄物の分別の徹底および建設廃材の分別の徹底
5. 水使用量の削減を推進します。
6. 高効率な空調機器や衛生器具の提案や施工による環境負荷削減を推進します。
7. 技術者の採用と育成に努めます。

この環境経営方針は、当社全従業員に周知し、環境経営レポートを公開します。

制定日	2020年10月1日
改正日	2021年10月1日
代表取締役	村上 貢

Ⅱ．組織の概要

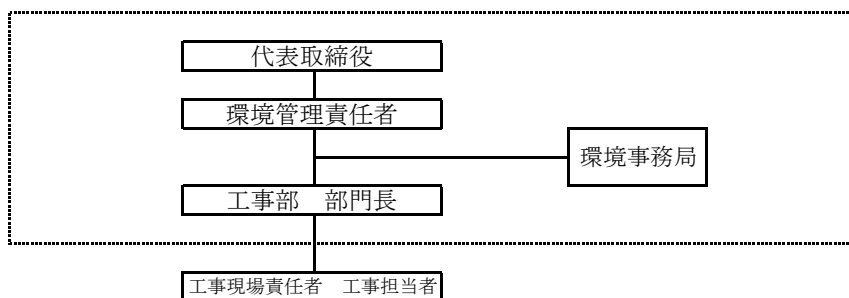
- (1) 名称及び代表者名
株式会社バンテック
代表取締役 村上 貢
- (2) 所在地
本 社(登記上) 〒679-1201 兵庫県多可郡多可町加美区豊部1676番地
事務所 〒679-1201 兵庫県多可郡多可町加美区豊部1675番地の3
倉庫 〒679-1201 兵庫県多可郡多可町加美区豊部1646番地の6
- (3) 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先
責任者 取締役 村上 翔吾 TEL : 0795-20-1216
担当者 総務課 廣田 幸弘 FAX : 0795-20-1282
E-Mail : bantec@maia.eonet.ne.jp
URL : <https://bantec0914.com/>
- (4) 事業内容
管工事業（空調設備）
許可番号 兵庫県知事（特一4） 第353760号 許可年月日 令和4年12月20日

土木工事業
許可番号 兵庫県知事（般一4） 第353760号 許可年月日 令和4年12月20日
- (5) 事業の規模
設立 平成24年9月14日
資本金 20百万円
売上高 346百万円（2023年度実績）

各事業所の規模

	事務所	倉庫	合計
従業員	10名	無人	10名
延べ床面積	213.65㎡	158.07㎡	371.72㎡
敷地面積	302㎡	3,774㎡	4,076㎡

(6) 組織



(7) 役割・責任・権限

	役割・責任・権限
代表取締役	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認 ・課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 ・環境教育訓練計画の作成と実施の管理 ・特定された項目の手順書作成（緊急事態への対応を含む） ・環境経営レポートの作成、公開（事務所への備付けと地域事務局への送付）
工事部部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の運用管理 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
工事現場責任者 (現場代理人)	・建設現場における環境経営システムの実施 ・工事担当者及び協力会社員に対する教育訓練の実施 ・建設現場の環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・緊急事態対応訓練の実施、記録の作成 ・建設現場での問題点の発見、是正、予防措置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

(8) 事業年度 9月～翌年8月

Ⅲ. 認証・登録の対象範囲

登録組織名： 株式会社バンテック
 対象事業所： 本社、事務所、倉庫
 対象外： 無
 活動： 管工事業、土木工事業

Ⅳ. 主な環境負荷の実績

項 目	単位	2019年度 基準年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	36,513	33,390	34,441	37,639	33,827
電力使用量	kWh	8,475	6,586	7,051	8,898	11,270
ガソリン使用量	L	9,679	9,373	10,252	9,119	9,427
軽油使用量	L	3,927	3,331	2,865	5,316	3,276
廃棄物排出量	kg	31,036	34,988	40,202	33,098	14,302
一般廃棄物	kg	実績不明	81	83	88	71
産業廃棄物	kg	31,036	34,907	40,119	33,010	14,231
水使用量	m ³	実績不明	実績不明	実績不明	実績不明	実績不明

注) 化学物質は使用しない。

注) 2020年度一般廃棄物の排出量は、2020年10月から2021年8月の数量。

2021年度一般廃棄物の排出量は、2021年9月から2022年8月の数量。

Ⅴ. 環境経営目標及びその実績

(1) 中期目標

年 度		2022年度 基準年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
Ⅰ. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	37,640	37,264	37,075	37,000	36,887
	対基準		△1%	△1.5%	△1.7%	△2%
電力使用量削減	kWh	8,898	8,809	8,765	8,747	8,720
	kg-CO ₂ 対基準	2,767	2,740	2,726	2,720	2,712
ガソリン 使用量削減	L	9,119	9,028	8,982	8,964	8,937
	kg-CO ₂ 対基準	21,156	20,945	20,839	20,796	20,733
軽油 使用量削減	L	5,316	5,263	5,236	5,226	5,210
	kg-CO ₂ 対基準	13,715	13,578	13,510	13,482	13,441
Ⅱ. 廃棄物排出量削減						
1) 一般廃棄物 削減	kg	88	87	87	87	86
	対基準	—	△1%	△1.5%	△1.7%	△2%
2) 産業廃棄物の 適正管理		行動目標（後述）				
Ⅲ. 環境に配慮した空 調機器の提案や施工		2022年度 年度基準	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
	台	48	52	53	54	54
空調機取替台数	対基準		+8%	+10%	+12.5%	+12.5%
Ⅳ. 課題を解決しチャ ンスを活かす取組		行動目標（後述）				
Ⅴ. BCP対策		行動目標（後述）				

水使用量の削減については、隣接する代表者自宅の水道水を使用しており、使用量も少ないため節水に努めるが経営目標は設定しない。

注) 電力の二酸化炭素排出係数は、(株)ハルエネ2018年度調整後係数 0.463kg-CO₂/kWh を使用。2023年4月から関西電力㈱2022年度調整後係数0.311kg-CO₂/kWh を使用。

注) 産業廃棄物の削減及び建設リサイクル率の削減目標については、受注内容によって大きく変動し、コントロールできないため、産業廃棄物の削減を産業廃棄物の適正管理とし、建設リサイクルの推進を目標から削除する。

注) BCP対策を2022年度より目標に追加する。

注) 環境に配慮した空調機器の提案や施工は、総設置台数に対する高効率設置台数の割合。2022年度より空調機取替台数に変更する。

注) 一般廃棄物削減目標は2022年度実績88kgを基準とし目標設定する。

(2) 実 績

項 目		2022年度	実績			
			(2023年9月～2024年8月)			
		基準値	目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂ 対基準	37,640	37,264	33,827	110%	○
電力使用量削減	kWh	8,898	8,809	11,270	78%	×
排出係数 0.311	kg-CO ₂ 対基準	2,767	2,740	3,505		
ガソリン 使用量削減	L	9,119	9,028	9,427	96%	△
排出係数 2.32	kg-CO ₂ 対基準	21,156	20,945	21,871		
軽油 使用量削減	L	5,316	5,236	3,276	160%	○
排出係数 2.58	kg-CO ₂ 対基準	13,715	13,578	8,452		
II. 廃棄物削減						
一般廃棄物 削減	kg 対基準	88	87	71	122.5%	○
産業廃棄物の適 正管理		行動目標（後述）				○
III. 環境に配慮した空 調機器の提案や施工	台 対基準	48	52	26	50%	×
IV. 課題を解決しチャ ンスを活かす取組		行動目標（後述）				○
V. B C P対策		行動目標（後述）				○

注1) 達成度欄にて、削減を目指す場合は、達成度＝目標÷実績×100%、増加を目指す場合は、達成度＝実績÷目標×100%

注2) 評価欄にて、○：達成（100%以上）、△：やや未達成（95%～100%未満）、×：未達成（95%未満）

注3) 産業廃棄物の適正管理については、分別を徹底し、マニフェスト作成による処分を行った。

注4) 課題を解決しチャンスを活かす取組は、ホームページ等を活用した採用活動、採用説明会の実施及び社外研修会への積極的参加。

注5) 令和5年3月近畿経済産業局より事業継続力強化計画の認定を受けた。

VI. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画
二酸化炭素排出量の削減 <u>(目標達成)</u>		
(下記の通り)		(下記の通り)
電力使用量の削減 <u>(目標未達成)</u>		
・空調温度の適正化 (冷房28℃暖房20℃)	△	冷暖房のスイッチに設定温度のシールを貼付し、設定温度を全員で共有管理した。しかしながら、事務所増設により空調機を増設したこと、熱中症の対策により設定温度を引き下げたため、電気使用量は増加した。次年度も引き続き継続していくが、今年度を基準年度とし目標を見直しする。
・不要照明の消灯	○	倉庫での照明の消し忘れ、事務室の間引き消灯など、不要照明の消灯を徹底した。又、一部の照明器具をLED照明に交換し、電力量の削減を行った。次年度も引き続き継続していく。
ガソリン使用量の削減 <u>(目標未達成)</u>		
・アイドリングストップ	○	従業員が令和6年1月に増え、更に5月より1名増えたことより、使用量の増加に繋がり未達成となった。次年度もエコドライブを推進し目標を達成したい。
・運転日誌の記入による燃料使用量の把握	○	運転日誌に記載し燃費確認を行った。次年度も引続き行う。
・空気圧、オイル等の点検	○	給油毎に適正な空気圧であるかを確認し、運転日誌に記入することでエコドライブを意識している。 エコドライブ10を次年度も引き続き推進していく。
・急加速・急停車の防止	○	急停止・急発進を防止し安全運転に心掛けた。
・効率的な移動	○	効率的な移動を心掛けることにより無駄な燃料の使用を避けた。一層の無駄を省く計画性のある移動を次年度も引き続き行っていく。
軽油使用量の削減 <u>(目標達成)</u>		
・重機の空ふかしの禁止	○	重機の無駄な運転を控えることができた。次年度も引続き継続してエコドライブを意識した運転を行う。
・アイドリングストップ	○	無駄な運手は停止し、意識した運転を心掛けた。次年度も引続き意識した運手を行う。
・空気圧、オイル等の点検	○	給油時に空気圧やオイル等の点検を行うことができた。 引き続き、左記取組を継続する。
一般廃棄物の削減 <u>(目標達成)</u>		
・実績収集(排出量の記録)	○	排出量の記録は令和2年10月から実施し、継続し記録はできた。
・分別の徹底	○	分別を徹底し排出量は削減できた。
・ミスコピーの防止	○	印刷時使用トレーの再確認を今以上に行う。
・コピー裏面使用	○	印刷時裏面トレーの設定を行う。
		今後も正確な排出量を把握しながら、削減に努める。
産業廃棄物の適正管理 <u>(目標達成)</u>		
・マニフェストの発行処分	◎	マニフェストによる処分を適正に行っており、県への報告もできている。次年度も実態調査を継続しながら、分別を徹底しマニフェストによる処分を適正に行っていく。
環境に配慮した空調機器の提案や施工 <u>(目標未達成)</u>		
・環境配慮した空調設備施工	△	新設の空調機の設置が多かったため、目標未達となった。次年度は新設も含めた台数増加を目標とする。
課題を解決してチャンスを活かす取組 <u>(目標達成)</u>		
・ホームページ等を活用した採用活動、採用説明会の実施	○	2024年4月1名中途採用したが、8月に退社した。1名採用したことにより新卒者採用の求人を行わず、高校への説明会も辞退した。その後、兵庫県「ひょうごで働こう！社会人インターンシップ」に参加申込を行った。次年度も引続き計画的に採用活動を行っていく。
・社外研修会への積極的参加	◎	新規採用者等は各種技能講習やダイキン空調技術訓練校へ入校し施工コースを受講した。又労働安全大会の参加、地球温暖化や気候変動適応セミナー等にリモートで参加した。次年度も引続き社外研修会や省エネ等のリモート研修に積極的に参加し、環境負荷低減に取組む一助とする。
B C P対策 <u>(目標達成)</u>		
・リスクの洗い出し ・手段・対策検討	○	令和4年12月にリスクの洗い出し、手段の検討を開始し、事業継続力強化に取り組む目的を明確化、自然災害等発生時の影響への対応、取組方針をまとめ事業継続力強化計画を申請する。令和5年3月2日近畿経済産業局より事業継続力強化計画の認定を受ける。今後、その対応手順を確りし維持し、見直しを含め災害時等発生時には対応できる体制とする。

VII. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
建設リサイクル法	建築物等の分別解体義務、事前届出 特定建設資材廃棄物の再資源化義務	該当なし
同省令	再生資源、建設工事副産物の再利用 再生資源利用計画書、実施記録の作成	該当なし
大気汚染防止法	特定粉じん排出等作業の実施の届出、作業基準の遵守	遵守
労働安全衛生法 石綿障害予防規則	建築物・工作物の解体等作業の事前調査・記録作成・保存・掲示等 事前調査の結果等の報告	遵守
自動車NOx・PM法	規制対象車両の登録禁止 規制対象車両の指定地域通行禁止	遵守
騒音規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
振動規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
オフロード法	基準に適合した特定特殊自動車の使用	遵守
低騒音・低振動型建設機械普及促進規程	低騒音・低振動型建設機械の使用の促進	遵守
排出ガス対策型建設機械普及促進規程	低排出ガス対策型建設機械の使用の普及・促進	遵守
消防法	消火器の定期点検の実施と記録の保存	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の定期点検と記録、漏洩防止、廃棄時の適切な処理	遵守
家電リサイクル法	特定家電4品目の適正な事業者（家電販売店）への引き渡し	該当なし
自動車リサイクル法	使用済自動車の適正な事業者（引取登録事業者）への引き渡し	該当なし

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。
なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

VIII. 代表者による全体の評価と見直し・指示

当社は、全従業員が地球環境の保全の重要性を認識し、環境負荷の低減を目指し、エコアクション21の活動に取り組んで4年になりました。事務所の増設及び温暖化による電力使用量は増加し、目標未達となったが、事業現場での重機の使用が減少したことによる軽油使用量の大幅な減少により、全体ではCO₂削減目標は達成となりました。しかしながら、未達項目が多いため、次年度は目標設定を見直し、今後一層の努力をしていく必要があります。

経営環境方針である項番7. 「技術者の採用と育成に努めます。」として採用活動を実施した結果、1名の若手新入社員が継続し勤務しており、専門学校への入校や技能講習の受講を進め、今後当社の大きな戦力となる技術者に育てていきたい。

全従業員の一人一人が環境負荷低減に向けた行動を今以上に認識し、環境経営方針に基づき継続的な改善に努めていきます。

項 目	見直しの有無	内 容
環境方針	無	—
環境経営目標・環境経営計画	無	—
実施体制	無	—
その他	無	—

2024年 10月 30日
代表取締役 村上 貢

Ⅸ. 環境への取組の紹介



<環境経営方針>



<ごみの分別>



<省エネ>



<環境配慮の施工>



<省エネ>



<環境配慮の施工>